申請日	2022/12/22

登録日	2023年1月10日

腫瘍名	乳がん

申請医師	土居正和

通常の投与期間	月、　　年、PDもしくは有害事象出現までの無期限、その他（

投与スケジュール

レジメン名

1回に要する時間：　1時間　　50分

乳腺 Atezolizumab+nabPTX

クールの概要

4週間が1クール

第1日目に投与

1クール　　2クール

1　　8　　15　　28　　(DAY)

	種別	薬剤	用量	用法	時間	1		8		15				28				
①	メイン	生食	100ml	点滴	開始から終了まで	↓		↓		↓				↓				
②	側管1	テセントリク 生食	840mg 250mL	点滴	60分	↓				↓				↓				
③	メイン	生食	フラッシュ	点滴	5分	↓				↓				↓				
④	側管2	カイトリルバック	3mg	点滴	15分	↓		↓		↓				↓				
⑤	側管3	アブラキサン 生食	100mg/㎡ 100mL	点滴	30分	↓		↓		↓				↓				

注意事項

PDL-1陽性（CPS≧1）のホルモン受容体陰性かつHER2陰性の手術不能又は再発乳がん患者
テセントリクはインラインフィルター（0.2～0.5㎛）を使用すること
初回投与の忍容性良好であれば、2回目以降の投与時間は30分間に短縮できる。
アブラキサンは特定生物由来製品
アブラキサンはインラインフィルターは使用しない　1バイアル当たり生理食塩水20mLで溶解し希釈はしない
調整後速やかに使用するかまたは箱に戻し冷蔵庫（2～8℃）に遮光保存して8時間以内に使用すること

参考文献

1）N Engl J Med 2018;379:2108-21
2)テセントリク添文書　2020年12月改訂版
3）アブラキアン添付文書

申請日		登録日	2011/11/22(更新2026/09/01)
腫瘍名	乳がん	申請医師	西谷　慎

通常の投与期間	ヶ月、　　年、PDもしくは有害事象出現までの無期限、その他(

投与スケジュール

レジメン名

1回に要する時間:　時間　165分

乳腺　BV+PTX

クールの概要

4週間が1クール。

1クール　　2クール

1　8　15　29 (DAY)

	種別	薬剤	用量	用法	時間	↓				↓				↓				
①	メイン	生食	100mL	点滴	開始から終了まで	↓				↓				↓				
②	メイン	ベバシズマブ 生食	10mg/kg 100mL	点滴	90分	↓								↓				
③	メイン	ﾃﾞｷｻｰﾄ ポララミン ガスター 生食	9.9mg 5mg 20mg 50mL	点滴	15分	↓				↓				↓				
④	メイン	パクリタキセル 5%ブドウ糖	90mg/m2 250mL	点滴	60分	↓				↓				↓				

注意事項

ベバシズマブは初回投与の忍容性が良好であれば2回目の投与は60分で行ってもよい。2回目の投与において忍容性が良好であればそれ以降の投与は30分間投与とすることができる。
パクリタキセルは0．22ミクロン以下のメンブランフィルターを用いたインラインフィルターを通して投与すること。
アレルギーがなければデキサート6.6mgに減量できる。

参考文献

1)乳癌診療ガイドライン　2022年版
2)N Engl J Med,2007;357(26):2666-76
3) Eur J Cancer,2017;70:146-55

申請日		登録日	2011/2/28(更新2017/05/12)
腫瘍名	乳がん	申請医師	土居正和

通常の投与期間	通常4回　　PDもしくは有害事象出現までの無期限、その他(

投与スケジュール

レジメン名

乳腺 DC

1回に要する時間:　1時間45分

クールの概要

3週間が1クール。通常4回で終了。
第1日目に投与

1クール　　2クール
1　2　3　　22　(DAY)

	種別	薬剤	用量	用法	時間	↓								↓			
①	ﾒｲﾝ	生食	100mL	点滴	開始から終了まで	↓								↓			
②	側管1	ﾊﾟﾛﾉｾﾄﾛﾝﾊﾞｯｸ ﾃﾞｷｻﾒﾀｿﾞﾝ	0.75mg 9.9mg	点滴	15分	↓								↓			
③	側管2	ドセタキセル 生食	75mg/㎡ 250mL	点滴	60分	↓								↓			
④	側管3	ｼｸﾛﾎｽﾌｧﾐﾄﾞ 生食	600mg/㎡ 100mL	点滴	30分	↓								↓			

注意事項

stage Ⅰ ～Ⅲ(N1～3まで)の術後化学療法として4サイクル施行
ルートはポリソルベート80含有のためPVCフリーを使用
シクロホスファミドは閉鎖式接続器具を用いて調整することが望ましいい

参考文献

申請日	2019/12/27

登録日	2020/1/14

腫瘍名	乳がん

申請医師	土居正和

通常の投与期間	PDもしくは有害事象出現までの無期限、その他(

投与スケジュール

レジメン名

1回に要する時間: 3 時間 45 分

乳腺 DC-Tmab

クールの概要

3週が1クール
第1日目に投与

1クール 2クール
1 2 3 4 5 6 7 22 (DAY)

	種別	薬剤	用量	用法	時間	↓								↓			
①	メイン	生食	100mL	点滴	開始から終了まで	↓								↓			
②	側管1	初回 トラスツズマブ 生食	8mg/kg 250ml	点滴	90分	↓											
②	側管1	2回目以降 トラスツズマブ 生食	6mg/kg 250ml	点滴	90分									↓			
③	側管2	パロノセトロン デキサート	0.75mg 9.9mg	点滴	15分	↓								↓			
④	側管3	ドセタキセル 5%ブドウ糖	75mg/m2 250ml	点滴	60分	↓								↓			
⑤	側管4	ｶﾙﾎﾞﾌﾟﾗﾁﾝ 生食	AUC6 250ml	点滴	60分	↓								↓			

注意事項

術後4～6コース実施後、トラスツズマブを1年間継続投与する。
初回投与の忍容性が良好であれば2回目以降　投与時間30分間まで短縮できる
アントラサイクリン系抗がん剤との同時併用はしない
投与中は3か月毎に心機能評価をする
投与予定日より1週間を超えた後に投与する際は改めて初回量で投与する

参考文献

NEJM 2011;365:1273
乳がんガイドライン治療編2018
ドセタキセル添付文書
カルボプラチン添付文書

申請日	2022/3/22

登録日	2022年3月29日

腫瘍名	乳がん

申請医師	西谷　慎

通常の投与期間	月、　　年、PDもしくは有害事象出現までの無期限、その他（

投与スケジュール

レジメン名

1回に要する時間:　　3時間15分

乳腺　Dosedense PTX

クールの概要

2週間が1クール
第1日目に投与

1クール　　2クール
1　2　　15　(DAY)

	種別	薬剤	用量	用法	時間	1								15			
①	メイン	生食	100ml	点滴	開始から終了まで	↓								↓			
②	側管1	デキサメタゾン ポララミン ガスター 生食	9.9mg 5mg 20mg 50mL	点滴	15分	↓								↓			
③	側管2	パクリタキセル 5%ブドウ糖	175mg/㎡ 500mL	点滴	180分	↓								↓			
		ジーラスタ	3.6mg	皮下			↓								↓		

注意事項

術前、術後療法としてdose dense EC療法を実施した患者に使用する
PVCフリー点滴ライン、インラインフィルター（0.22μm）を使用
必ずジーラスタ併用すること

参考文献

1）乳癌診療ガイドライン2018
2）Lancet.2015;385(9980):1863-72

申請日	2022/1/25

登録日	2022年2月1日

腫瘍名	乳がん

申請医師	西谷　慎

通常の投与期間	月、　　年、PDもしくは有害事象出現までの無期限、その他（

投与スケジュール

レジメン名

1回に要する時間:　45分

乳腺　Dosedense EC

クールの概要

2週間が1クール
第1日目に投与

1クール　　2クール
1　2　3　　14　(DAY)

	種別	薬剤	用量	用法	時間	1	2	3						14			
①	メイン	生食	100ml	点滴	開始から終了まで	↓								↓			
②	側管1	パロノセトロン デキサート アロカリス	0.75mg 9.9mg 235mg	点滴	30分	↓								↓			
③	側管2	エピルビシン 生食	90mg/㎡ 50ml	点滴	全開	↓								↓			
④	側管3	ｼｸﾛﾎｽﾌｧﾐﾄﾞ 生食	600mg/㎡ 100ml	点滴	30分	↓								↓			
		ジーラスタ	3.6mg	皮下	30分		↓								↓		

注意事項

術前、術後化学療法では4コース投与
エピルビシンの総投与量は900mg/㎡を超えないこと
必ずジーラスタ併用すること

参考文献

1）乳癌診療ガイドライン2018
2）Lancet.2015;385(9980):1863-72

申請日		登録日	2005/3/1(2017/05/12)
腫瘍名	乳がん	申請医師	土居正和

通常の投与期間	ヶ月、　年、PDもしくは有害事象出現までの無期限、その他(

投与スケジュール

レジメン名

1回に要する時間：1時間15分

乳腺 DTX-3w

クールの概要

3週間が1クール
第1週目に投与。2,3週目は休薬

1クール　2クール
1　2　3　22　(DAY)

	種別	薬剤	用量	用法	時間	↓								↓			
①	メイン	生食	100ml	点滴	開始から終了まで	↓								↓			
②	側管1	デカドロン 生食	6.6mg 50mL	点滴	15分	↓								↓			
③	側管2	ドセタキセル 5%ブドウ糖	75mg/m2 250ml	点滴	60分	↓								↓			

注意事項

Per+Herと併用可

参考文献

申請日		登録日	2011/2/28(更新2024/09/11)
腫瘍名	乳がん	申請医師	神野　正敏

通常の投与期間	月、　　年、PDもしくは有害事象出現までの無期限、その他(

投与スケジュール

レジメン名

1回に要する時間:　1時間　15分

乳腺　EC

クールの概要

3週間が1クール
第1日目に投与

1クール　　2クール
1　2　3　　22　(DAY)

	種別	薬剤	用量	用法	時間	↓								↓			
①	メイン	生食	100mL	点滴	開始から終了まで	↓								↓			
②	側管1	パロノセトパック デキサート アロカリス	0.75mg 9.9mg 235mg	点滴	30分	↓								↓			
③	側管2	エピルビシン 生食	100mg/㎡ 50mL	点滴	全開	↓								↓			
④	側管3	ｼｸﾛﾎｽﾌｧﾐﾄﾞ 生食	600mg/㎡ 100mL	点滴	30分	↓								↓			

注意事項

術前、術後化学療法では4～6コース投与
エピルビシンの総投与量は900mg/㎡を超えないこと
シクロホスファミドは閉鎖式接続器具を用いて調整することが望ましいい

参考文献

申請日		登録日	2012/2/1(更新2017/05/15)
腫瘍名	乳がん	申請医師	土居正和

通常の投与期間	ヶ月、　年、PDもしくは有害事象出現までの無期限、その他(

投与スケジュール

レジメン名

1回に要する時間:　時間　20分

乳腺　Eribulin

クールの概要

3週間が1クール
第1・2週目に投与。3週目は休薬

1クール　2クール
1　8　15　22　(DAY)

	種別	薬剤	用量	用法	時間	↓			↓					↓			
①	メイン	生食	100mL	点滴	開始から終了まで	↓			↓					↓			
②	側管1	デカドロン 生食	6.6mg 50mL	点滴	15分	↓			↓					↓			
③	側管2	エリブリン 生食	1.4mg/㎡ 50mL	点滴	2～5分	↓			↓					↓			

注意 事項

アントラサイクリン系およびタキサン系抗がん薬を含む前治療歴を有する進行または再発乳がん患者が対象
0.01mg/ml未満の濃度に希釈しないこと(投与量1mg未満の場合は生食30mLで調製する)
シリンジに吸入後、室温であれば6時間以内、冷蔵であれば24時間以内は安定

参考文献

EMBRACE試験

申請日		登録日	2010年5月7日

腫瘍名	乳がん	申請医師	土居正和

通常の投与期間	ヶ月、　　年、PDもしくは有害事象出現までの無期限、その他（

投与スケジュール

レジメン名

1回に要する時間:　　時間　45分

乳腺 GEM

クールの概要

3週間が1クール
第1日目、8日目に投与

1クール　　2クール
1　8　22　29
(DAY)

	種別	薬剤	用量	用法	時間	1		8						22		29	
①	メイン	生食	100ml	点滴	開始から終了まで	↓		↓						↓		↓	
②	側管1	デカドロン 生食	6.6mg 50mL	点滴	15分	↓		↓						↓		↓	
③	側管2	ゲムシタビン 生食	1250mg/m2 100ml	点滴	30分	↓		↓						↓		↓	

注意事項

三次治療以降
溶解後保存する場合は室温（15～30℃）で保存し、24時間以内に使用する

参考文献

申請日		登録日	2011/3/1(更新3017/05/15)
腫瘍名	乳がん	申請医師	土居正和

通常の投与期間	ヶ月、　年、PDもしくは有害事象出現までの無期限、その他(

投与スケジュール

レジメン名

1回に要する時間:　時間 45 分

乳腺　nabPTX

クールの概要

3週間が1クール
第1週目に投与。2,3週目は休薬

1クール　2クール
1 2 3 4 5 6 7　22 (DAY)

	種別	薬剤	用量	用法	時間	1	2	3	4	5	6	7	22
①	メイン	生食	100ml	点滴	開始から終了まで	↓							↓
②	側管1	ﾃﾞｶﾄﾞﾛﾝ 生食	6.6mg 50ml	点滴	15分	↓							↓
③	側管2	nabPTX 生食	260mg/㎡ 100ml	点滴	30分	↓							↓

注意事項

特定生物由来製品
過敏症防止のための前投薬は不要
アルコールは含まれていない
インラインフィルターは使用しない
1バイアル当たり生理食塩水20mLで溶解し希釈はしない
調整後速やかに使用するかまたは箱に戻し冷蔵庫(2～8℃)に遮光保存して8時間以内に使用すること

申請日	2023/8/8

登録日	2023年8月8日

腫瘍名	乳がん

申請医師	西谷　慎

通常の投与期間	月、　　年、PDもしくは有害事象出現までの無期限、その他（

投与スケジュール

レジメン名

1回に要する時間:　　80分

乳腺 Pembro+EC−術前

クールの概要

3週間が1クール
第1日目に投与

1クール　　2クール
1　8　15　22　(DAY)

	種別	薬剤	用量	用法	時間	↓								↓			
①	メイン	生食	100ml	点滴	開始から終了まで	↓								↓			
②	側管1	キイトルーダ 生食	200mg 100mL	点滴	30分	↓								↓			
③	メイン	生食	フラッシュ	点滴	5分	↓								↓			
④	側管2	ハロペリドールパック デキサート アロカリス	0.75mg 9.9mg 235mg	点滴	30分	↓								↓			
⑤	側管3	エピルビシン 生食	90mg/㎡ 50mL	点滴	全開	↓								↓			
⑥	側管4	シクロホスファミド 生食	600mg/㎡ 100mL	点滴	30分	↓								↓			

注意事項

ホルモン受容体陰性かつHER2陰性の乳がんの術前化学療法が対象　術前化学療法として4コース実施
キイトルーダはインラインフィルター（0.2～0.5μm）を使用すること
エピルビシンの総投与量は900mg/㎡を超えないこと
シクロホスファミドは閉鎖式接続器具を用いて調整することが望ましいい

参考文献

1）N Engl J Med 2022;386:556-567（Protcol）
2）N Engl J Med 2020;382:810-821
3)キイトルーダ添文書、エピルビシン添付文書、エンドキサン添付文書
4）国際共同第Ⅲ相試験（KEYNOTE-522試験）

申請日	2022/1/31

登録日	2022年2月8日

腫瘍名	乳がん

申請医師	土居正和

通常の投与期間	月、　　年、PDもしくは有害事象出現までの無期限、その他（

投与スケジュール

レジメン名

1回に要する時間：　2時間　　20分

乳腺 Pembro+GEM+CBDCA

クールの概要

3週間が1クール
第1日目に投与

1クール　　2クール
1　　8　　15　　22　　(DAY)

	種別	薬剤	用量	用法	時間	1			8					22			
①	メイン	生食	100ml	点滴	開始から終了まで	↓			↓					↓			
②	側管1	キイトルーダ 生食	200mg 100mL	点滴	30分	↓								↓			
③	メイン	生食	フラッシュ	点滴	5分	↓								↓			
④	側管2	パロノセトロン デキサート	0.75mg 9.9mg	点滴	15分	↓			↓					↓			
⑤	側管3	ゲムシタビン 生食	1000mg/㎡ 100mL	点滴	30分	↓			↓					↓			
⑥	側管4	カルボプラチン 生食	AUC2 250mL	点滴	60分	↓			↓					↓			

注意事項

PDL-1陽性（CPS≧10）のホルモン受容体陰性かつHER2陰性の手術不能又は再発乳がん患者
キイトルーダはインラインフィルター（0.2～0.5㎛）を使用すること
CBDCA量（mg）＝AUC×（GFR+25）　GFRはCcr（+0.2補正）または体表面積補正（1.73㎡）を行ったeGFRに近似する

参考文献

1）Cortes J et al.Lancet2020;396:1817-1828
2)キイトルーダ添文書　2021年8月改訂版
3）ゲムシタビン添付文書　2021年9月改
4）カルボプラチン添付文書　2021年8月改訂版

申請日	2023/8/8

登録日	2023年8月8日

腫瘍名	乳がん

申請医師	西谷　慎

通常の投与期間	月、　　年、PDもしくは有害事象出現までの無期限、その他（

投与スケジュール

レジメン名

乳腺 Pembro+PTX+CBDCA−術前

1回に要する時間：　3時間　　5分

クールの概要

3週間が1クール

第1日目に投与

1クール　　2クール

1　　8　　15　　22　　(DAY)

	種別	薬剤	用量	用法	時間	1			8			15			22			
①	メイン	生食	100ml	点滴	開始から終了まで	↓			↓			↓			↓			
②	側管1	キイトルーダ 生食	200mg 100mL	点滴	30分	↓									↓			
③	メイン	生食	フラッシュ	点滴	5分	↓									↓			
④	側管2	パロノセトロンバック デキサート ポララミン ファモチジン アロカリス	0.75mg 9.9mg 5mg 20mg 235mg	点滴	30分	↓									↓			
⑤	側管2	ﾃﾞｷｻｰﾄ ﾎﾟﾗﾗﾐﾝ ﾌｧﾓﾁｼﾞﾝ 生食	6.6mg 5mg 20mg 50mL	点滴	15分				↓			↓						
⑥	側管3	パクリタキセル 5%ブドウ糖	80mg/㎡ 250mL	点滴	60分	↓			↓			↓			↓			
⑦	側管4	カルボプラチン 5/ブドウ糖	AUC5 250mL	点滴	60分	↓									↓			

注意事項

ホルモン受容体陰性かつHER2陰性の乳がんの術前化学療法が対象 術前化学療法として4コース実施
キイトルーダはインラインフィルター（0.2～0.5μm）を使用すること
パクリタキセルはインラインフィルター（0.22μm以下）を使用すること
CBDCA量（mg）＝AUC×（GFR+25）　GFRはCcr（+0.2補正）または体表面積補正（1.73㎡）を行ったeGFRに近似する。

参考文献

1）N Engl J Med 2022;386:556-567（Protcol）
2）N Engl J Med 2020;382:810-821
3）キイトルーダ添文書、ゲムシタビン添付文書、カルボプラチン添付文書
4）国際共同第Ⅲ相試験（KEYNOTE-522試験）

申請日	2023/8/8

登録日	2023年8月8日

腫瘍名	乳がん

申請医師	西谷　慎

通常の投与期間	月、　　年、PDもしくは有害事象出現までの無期限、その他（

投与スケジュール

レジメン名

1回に要する時間：　時間　　30分

乳腺 Pembro-3w

クールの概要

3週間が1クール
第1日目に投与

1クール　　2クール
1　8　15　22　(DAY)

	種別	薬剤	用量	用法	時間	1								22			
①	メイン	生食	100ml	点滴	開始から終了まで	↓								↓			
②	側管1	キイトルーダ 生食	200mg 100mL	点滴	30分	↓								↓			

注意事項

ホルモン受容体陰性かつHER2陰性の乳がんの術後化学療法が対象
術前にPembro+PTX+CDBCA、Pembro+ECが実施され、術後化学療法として9コース実施
キイトルーダはインラインフィルター（0.2～0.5μm）を使用すること

1）N Engl J Med 2022;386:556-567（Protcol）
2）N Engl J Med 2020;382:810-821
3)キイトルーダ添文書
4）国際共同第Ⅲ相試験（KEYNOTE-522試験）
5）乳がん診療ガイドライン2022年

申請日	2024/0701

登録日	2024年7月12日

腫瘍名	乳がん

申請医師	神野　正敏

通常の投与期間	月、　　年、PDもしくは有害事象出現までの無期限、その他（

投与スケジュール

レジメン名

1回に要する時間：　時間　　30分

乳腺 Pembro-6w

クールの概要

6週間が1クール
第1日目に投与

1クール　　2クール
1　　43　　(DAY)

	種別	薬剤	用量	用法	時間												
①	メイン	生食	100ml	点滴	開始から終了まで	↓								↓			
②	側管1	キイトルーダ 生食	400mg 100mL	点滴	30分	↓								↓			

注意事項

ホルモン受容体陰性かつHER2陰性の乳がんの術後化学療法が対象
術前にPembro+PTX+CDBCA、Pembro+ECが実施され、術後化学療法として5コース実施
キイトルーダはインラインフィルター（0.2～0.5μm）を使用すること

1）N Engl J Med 2022;386:556-567（Protcol）
2）N Engl J Med 2020;382:810-821
3)キイトルーダ添文書
4）国際共同第Ⅲ相試験（KEYNOTE-522試験）
5）乳がん診療ガイドライン2022年

申請日	2025/9/1

登録日	2025年9月

腫瘍名	乳がん

申請医師	神野　正敏

通常の投与期間	PDもしくは有害事象出現までの無期限、(術前・術後の場合、12ヶ月まで)

投与スケジュール

レジメン名

1回に要する時間:　1 時間30分

乳腺　Phesgo+DTX-3w

クールの概要

3週間が1クール

1クール　2クール

1 2 3 4 5 6 7　22 (DAY)

	種別	薬剤	用量	用法	時間	1	2	3	4	5	6	7	22
①	メイン	初回 フェスゴ配合皮下注 IN	15mL	皮下注 大腿部	8分以上	↓							
②	メイン	2回目以降 フェスゴ配合皮下注 MA	10mL	皮下注 大腿部	5分以上								↓
③	メイン	生食	100mL	点滴	開始から 終了まで	↓							↓
④	側管1	デキサメタゾン 生食	6.6mg 50mL	点滴	15分	↓							↓
⑤	側管2	ドセタキセル 5%ブドウ糖	75mg/m2 250mL	点滴	60分	↓							↓

注意事項

Her2陽性の乳がん
術前・手術不能または再発乳がんに対して使用する。
投与中は3か月毎に心機能評価をする
前回投与日から6週間以上超の時は、改めて初回投与量で投与する。
大腿部に皮下投与すること(同一箇所へ繰り返し投与は避け、前回の注射部位から少なくとも2.5cm離すこと)
25Gの針を使用

参考文献

1)Lancet　Oncol,22、85-97(2021)　FeDeriCa試験
2)N Engl J Med,366、109-119(2012)　CLEOPATRA試験
2)フェスゴ配合皮下注添付文書2023年11月改訂版

申請日	2024/8/1
腫瘍名	乳がん

登録日	2024年8月
申請医師	神野　正敏

通常の投与期間	PDもしくは有害事象出現までの無期限、（術前・術後の場合、12ヶ月まで）

投与スケジュール

レジメン名

1回に要する時間：　　時　間分

乳腺　Phesgo-3w

クールの概要

３週間が１クール

1クール　1　2　3　4　5　6　7

2クール　22　（DAY）

	種別	薬剤	用量	用法	時間	1	2	3	4	5	6	7			22			
①	メイン	初回 フェスゴ配合皮下注 IN	15mL	皮下注 大腿部	8分以上	↓												
②	メイン	2回目以降 フェスゴ配合皮下注 MA	10mL	皮下注 大腿部	5分以上										↓			

注意事項

Her2陽性の乳がん
術後・手術不能または再発乳がんに対して、本剤を単剤で使用する場合に用いる。
Per+Her+化学療法の治療歴があれば使用可能
術前、術後治療での投与期間は12ヶ月までとする
投与中は3か月毎に心機能評価をする
前回投与日から6週間以上超の時は、改めて初回投与量で投与する。
大腿部に皮下投与すること（同一箇所へ繰り返し投与は避け、前回の注射部位から少なくとも2.5cm離すこと）
25Gの針を使用

参考文献

1）Lancet　Oncol,22、85-97（2021）
2）フェスゴ配合皮下注添付文書2023年11月改訂版

申請日		登録日	2017/5/12
腫瘍名	乳がん	申請医師	土居正和

通常の投与期間	ヶ月、　年、PDもしくは有害事象出現までの無期限、その他（

投与スケジュール

レジメン名

1回に要する時間：1時間　15　分

乳腺 PTX-w

クールの概要

4週間が1クール
第1･2･3週目に投与、4週目は休薬

1クール　2クール
1　8　15　22　29　(DAY)

	種別	薬剤	用量	用法	時間	↓		↓		↓					↓			
①	メイン	生食	100mL	点滴	開始から終了まで	↓		↓		↓					↓			
②	側管1	デカドロン ポララミン ガスター 生食	9.9mg 5mg 20mg 50mL	点滴	15分	↓		↓		↓					↓			
③	側管2	パクリタキセル 5%ブドウ糖	80mg/m2 250ml	点滴	60分	↓		↓		↓					↓			

注意事項

術前、術後化学療法は4コース（PTX12回投与）まで
パクリタキセルは0.22μm以下のメンブランフィルター、DEHPフリーの点滴用セットを用いること
アレルギーがなければデキサメタゾン6.6mgに減量できる。

参考文献

申請日		登録日	2017/5/12
腫瘍名	乳がん	申請医師	土居正和

通常の投与期間	ヶ月、　年、PDもしくは有害事象出現までの無期限、その他（

投与スケジュール

レジメン名

1回に要する時間：1時間　15　分

乳腺 PTX−術前後

クールの概要

1週間が1クール
12クールまで連続投与

1クール
1　8　15　22　(DAY)



	種別	薬剤	用量	用法	時間	1		8		15		22						
①	メイン	生食	100ml	点滴	開始から終了まで	↓		↓		↓		↓						
②	側管1	デキサート ポララミン ガスター 生食	9.9mg 5mg 20mg 50ml	点滴	15分	↓		↓		↓		↓						
③	側管2	パクリタキセル 5%ブドウ糖	80mg/m2 250ml	点滴	60分	↓		↓		↓		↓						

注意事項

術前、術後化学療法PTX12回連続投与
パクリタキセルは0.22μm以下のメンブランフィルター、DEHPフリーの点滴用セットを用いること
アレルギーがなければデキサメタゾン6.6mgに減量できる

参考文献

申請日		登録日	2014/9/1(更新2020/12/01)
腫瘍名	乳がん	申請医師	土居正和

通常の投与期間	ヶ月、　　年、PDもしくは有害事象出現までの無期限、その他(

投与スケジュール

レジメン名

1回に要する時間:　1 時間 45 分

乳腺　T-DM1

クールの概要

3週間が1クール
第1日目に投与

1クール　2クール
1　22 (DAY)

	種別	薬剤	用量	用法	時間	1								22			
①	メイン	生食	100mL	点滴	開始から終了まで	↓								↓			
②	側管1	デカドロン 生食	6.6mg 50mL	点滴	15分	↓								↓			
③	側管2	トラスツズマブエムタンシン 生食	3.6mg/kg 250ml	点滴	90分	↓								↓			

注意事項

Her2陽性の進行、再発の2次治療以降、術後補助化学療法に適応
術後補助療法の場合は術前療法でpCRが認められなかった患者に投与すること。また術後補助療法の場合は投与回数14回までとする。
トラスツズマブおよびタキサン系抗がん薬の治療歴があること
初回投与の忍容性が良好であれば2回目以降　投与時間30分間まで短縮化
インラインフィルター0.2又は0.22ミクロンを使用
1～4コースまでは6週ごと5コース目以降は12週ごとの心エコー検査が推奨されている。

参考文献

EMILIA試験

申請日	2024/7/1

登録日	2024年7月12日

腫瘍名	乳がん

申請医師	神野　正敏

通常の投与期間	月、　　年、PDもしくは有害事象出現までの無期限、その他（

投与スケジュール

レジメン名

1回に要する時間：　2時間　　分

乳腺　Tmab+Deruxtecan

クールの概要

3週間が1クール
第1日目に投与

1クール　　2クール
1　2　3　　22　（DAY）

	種別	薬剤	用量	用法	時間	↓								↓			
①	メイン	5%ブドウ糖液	100ml	点滴	開始から終了まで	↓								↓			
②	側管1	パロノセトロンバック デキサート アロカリス	0.75mg/50mL 6.6mg 235mg/10mL	点滴	30分	↓								↓			
③	メイン	5%ブドウ糖液	フラッッシュ	点滴	全開	↓								↓			
④	側管2	エンハーツ 注射用水 5%ブドウ糖液	5.4mg/kg 20ml 100mL	点滴	90分	↓								↓			

注意事項

化学療法歴のある手術不能または再発乳がん
①Her2陽性でトラスツズマブ及びタキサン系抗悪性腫瘍剤の治療歴があること
②Her2低発現（ベンタナultraViewパスウェーHer2（4B5)で1+または2+でFISH陰性
初回投与の忍容性が良好であれば2回目以降の投与時間は30分間まで短縮できる
0.2μmインラインフィルターを使用する

1）S modi,et al,NEngl J Med,382,610-621(2020)
2)エンハーツ添付文書
3）エンハーツ適正使用ガイド

申請日		登録日	2012/10/31(更新2017/05/15)
腫瘍名	乳がん	申請医師	土居正和

通常の投与期間	ヶ月、　　年、PDもしくは有害事象出現までの無期限、その他(

投与スケジュール

レジメン名

1回に要する時間:　1時間　　分

乳腺　VNR

クールの概要

3週間が1クール
第1･2週目に投与、3週目は休薬

1クール　　2クール
1　8　15　　22　(DAY)

	種別	薬剤	用量	用法	時間	↓	↓							↓			
①	メイン	生食	100ml	点滴	開始から終了まで	↓	↓							↓			
②	側管1	ロゼウス 生食	25mg/m2 50ml	点滴	全開	↓	↓							↓			
③	側管2	生食	250mL	点滴	全開	↓	↓							↓			

注意事項

アントラサイクリン、タキサンを投与後の使用が勧められる。
ただし、高齢者や脱毛を避けたい場合には1st.lineでの使用はオプションとして可能と考えられる。

参考文献